

# 総務文教常任委員会

令和3年9月24日(金)

午前10時～

全員協議会室

## 1 開議

## 2 事務局日程説明

## 3 議案審査

### 総務部

#### (1) 第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第4号) (消防費)

<説明～質疑>

## 4 討論～採決

## 5 行政報告

#### (1) ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施について

(市長公室・環境先進都市推進部)

#### (2) 亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会について

(政策企画部)

#### (3) 連携・協力に関する協定の締結及び生涯学習推進設備の設置について

(生涯学習部)

## 6 その他

・議会だよりの掲載事項について

・次回の日程等について

令和3年9月24日

# 総務文教常任委員会

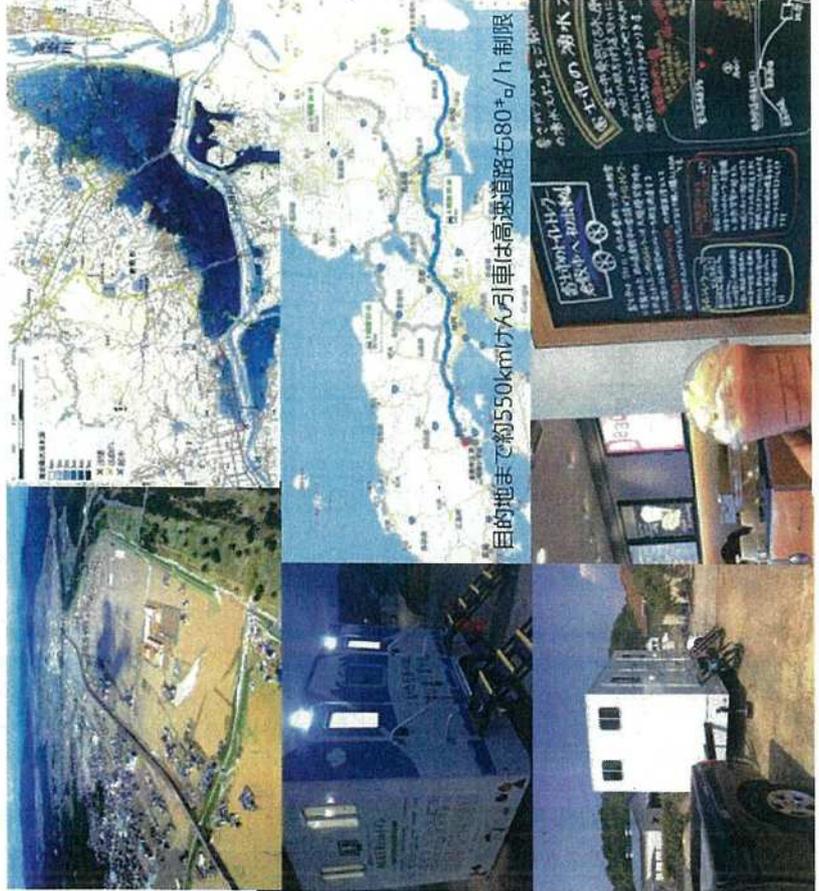
【 提出資料 】

総務部

平成30年7月豪雨 岡山県倉敷市派遣

【期間】 7月11日-8月30日 (50日間)  
 【派遣自治体】 富士市  
 【設置場所】 倉敷市立第二福田小学校 体  
 育館前避難所 (倉敷市福田町古新田310-2)  
 【避難者数】 230人  
 【し尿処理】 浄化槽の汚水マスへ2~3日  
 に1回排出。  
 避難者は倉敷市真備町在住の方々。大変き  
 れいに運用していただきました。昼間は出  
 かけるため、夜と朝の使用割合が高い。

【期間】 7月10日-5月20日 (約10ヶ月間)  
 【派遣自治体】 デモ車両  
 【設置場所】 呉妹診療所 災害ボランティア  
 アサテライト (倉敷市真備町尾崎1600-1)  
 【屋間人口数】 多数  
 【し尿処理】 ハキユーム対応  
 倉敷市災害対策本部の判断により、7/15二  
 万小学校避難所から、呉妹診療所へ移動。  
 浸水エリア内活動している、医療チーム、  
 自衛隊、DMAT、NPOの支援基地として使用。



令和元年台風第15号 千葉県君津市派遣

【期間】 9月12日-9月23日 (12日間)  
 【派遣自治体】 富士市 刈谷市  
 【設置場所】 君津市文化ホール 自衛隊給  
 水入浴設備とともに (君津市三直(みのうら)  
 622番地)  
 【利用者数】 多数  
 【し尿処理】 ハキユーム対応  
 長く続く断水と停電。給水と入浴の広場に  
 自衛隊の入浴施設とセットで展開。衛生面  
 で大きく貢献できた。

【期間】 9月15日-10月2日 (18日間)  
 【派遣自治体】 西伊豆町  
 【設置場所】 君津市清和公民館 自衛隊給  
 水入浴設備とともに (君津市西栗倉57)  
 【利用者数】 多数  
 【し尿処理】 ハキユーム対応  
 特にプラックアウトが長期化した集落。住  
 民の我慢が限界に達していたように思う。  
 ここも、日常のトイレとして衛生面で大き  
 く貢献できた。



8月20日設置、現在も支援中です。



## 篠栗町 → 大雨被害の佐賀・大町町 トイレトレーラー出動 九州の災害では初めて

記録的大雨で被害を受けた佐賀県大町町の災害ボランティアセンターに、篠栗町が所有する移動式トイレトレーラーが設置された。災害時にはトイレ不足が課題となることが多く、被災地へ機動的に派遣できる同トレーラーを導入する自治体が増えつつある。今回、九州での災害では初の派遣となった。

トイレは4室の洋式。同法人による8月時点では、県内2自治体は移動式トイレを所有する。篠栗町は2020年3月に導入。購入費は国の交付金やクラウドファンディングでまかなった。大町町では8月24日のボランティア受け入れ開始を前に、活動の拠点となるセンターのトイレが使えないという問題が生じていた。



大町町災害ボランティアセンターに設置された移動式トイレトレーラー

このため町側が同法人を通じて協力を要請していた。篠栗町は19日に派遣を決定し、翌20日には現地に設置。センターを運営する大町町社会福祉協議会は「ボランティアの受け入れ開始までにトイレの準備が間に合っただけだったが、素早い対応に助けられた」と感謝する。同法人代表理事の石川博哉さんは「篠栗町からの距離が100キロ以内と近かったからこそ、素早く支援できた。佐賀県内でもトイレ導入が広がってほしい」と話した。(山下航)

第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第4号）に対する修正案

第1号議案 令和3年度亀岡市一般会計補正予算（第4号）の一部を次のように修正する。

第1条第1項中「595,900千円」を「569,200千円」に、「37,846,900千円」を「37,820,200千円」に改める。

第1表 歳入歳出予算補正の表の一部を次のように改める。

1 歳入

款	項	補正前の額	補正額	計
21 諸収入		千円	千円	千円
		398,613	3,600 7,500	402,213 406,113
	6 雑入	370,386	3,600 7,500	373,986 377,886
22 市債		4,191,900	13,900 36,700	4,205,800 4,228,600
	1 市債	4,191,900	13,900 36,700	4,205,800 4,228,600
歳入合計		37,251,000	569,200 595,900	37,820,200 37,846,900

2 歳出

款	項	補正前の額	補正額	計
9 消防費		千円	千円	千円
		1,166,476	0 26,700	1,166,476 1,193,176
	1 消防費	1,166,476	0 26,700	1,166,476 1,193,176
歳出合計		37,251,000	569,200 595,900	37,820,200 37,846,900

第3表 地方債補正の表の一部を次のように改める。

2 変更

起債の目的	補正前				補正後			
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
消防施設整備事業	千円				千円			
	20,300				20,300 43,100			
	"	"	"	"	"	"	"	"
計	4,191,900				4,204,200 4,227,000			

(参考) 令和3年度亀岡市一般会計補正予算(第4号)修正に関する説明書  
歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

款	補正前の額	補正額	計
21 諸収入	千円 398,613	千円 3,600 7,500	千円 402,213 406,113
22 市債	4,191,900	13,900 36,700	4,205,800 4,228,600
歳入合計	37,251,000	569,200 595,900	37,820,200 37,846,900

(歳出)

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
9 消防費	千円 1,166,476	千円 0 26,700	千円 1,166,476 1,193,176	千円 0 0	千円 22,800 3,900	千円 0 0	千円 0 0
歳出合計	37,251,000	569,200 595,900	37,820,200 37,846,900	118,118	13,900 36,700	61,002 64,902	376,180

2 歳入

2.1 款 諸収入

款項目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
21 款 諸収入	千円 398,613	千円 3,600 7,500	千円 402,213 406,113		千円	千円
6 項 雑入	370,386	3,600 7,500	373,986 377,886			
11 目 消防費雑入	20,564	0 3,900	20,564 24,464	1 雑入 (消防)	0 3,900	○支援金収入 0 3,900

2.2 款 市債

款項目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
22 款 市債	千円 4,191,900	千円 13,900 36,700	千円 4,205,800 4,228,600		千円	千円
1 項 市債	4,191,900	13,900 36,700	4,205,800 4,228,600			
6 目 消防債	20,300	0 22,800	20,300 43,100	1 消防債	0 22,800	○消防施設整備事業債増 0 22,800

3 歳出

9款 消防費

款項目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳	節		説明
					区分	金額	
9款 消防費	千円 1,166,476	千円 0 26,700	千円 1,166,476 1,193,176	千円 特定財源 0 26,700 一般財源 0		千円	
1項 消防費	1,166,476	0 26,700	1,166,476 1,193,176	特定財源 0 26,700 (内訳) 諸収入 0 3,900 市債 0 22,800 一般財源 0			
5目 災害対策費	13,056	0 26,700	13,056 39,756	特定財源 0 26,700 (内訳) 諸収入 0 3,900 市債 0 22,800 一般財源 0	7 報償費 10 需用費 11 役務費 12 委託料 17 備品 購入費 26 公課費	0 1,154 0 204 0 2,051 0 458 0 22,800 0 33	○災害対策経費増 0 26,700 ・報償費 0 1,154 ・需用費 0 204 ・役務費 0 2,051 ・業務委託料 0 458 ・備品購入費 0 22,800 ・自動車重量税 0 33

地方債の前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

(単位：千円)

区分	前年度末現在高		当該年度中増減見込額		当該年度末 現在高見込額
			起債見込額	元金償還見込額	
1 普通債	25,439,375	補正前の額	2,720,900	2,613,452	25,559,123 25,581,923
		補正額	12,300 35,100		
		補正後の額	2,733,200 2,756,000	2,613,452	
(8) 消防	398,288	補正前の額	20,300	25,806	392,782 415,582
		補正額	0 22,800		
		補正後の額	20,300 43,100	25,806	
合計	40,739,465	補正前の額	4,191,900	3,947,082	40,998,183 41,020,983
		補正額	13,900 36,700		
		補正後の額	4,205,800 4,228,600	3,947,082	

令和3年9月10日  
市長公室・環境先進都市推進部

## ふるさと納税を活用したクラウドファンディングの実施について

本市政策のPRと寄附支援の呼びかけを行い、関連事業の財源確保を図るため、今年度、「楽天」の展開するクラウドファンディング（CF）企画を活用します。

### ※ クラウドファンディング

寄附金の使い道をプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組み。

## 1 CF企画内容

プロジェクト	環境政策のフラッグシップ施設をつくりたい
概要	環境先進都市に向けた本市の環境施策を広く発信するとともに、「環境」の下に様々な人々が集い、交流し、つながることができる環境拠点施設を整備する。
募集期間（予定）	令和3年10月以降、最長3カ月間
目標額	150,000千円 ※期間中、目標額に到達しても受付を継続
寄附金の使い道	環境拠点施設の整備費用

## 2 今後の流れ

- ①審査 9月下旬
- ②採用決定 9月下旬
- ③募集開始 10月以降（予定）



## 設置目的

亀岡市は、2018年12月13日、亀岡市議会とともに「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を発信しました。この宣言では、「自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現する。」と掲げており、「海洋汚染問題に立ち上がる意識のつながりを呼びかける」ことや、「世界最先端の『環境先進都市・亀岡』のブランド力向上」を目指すことを目標に定めています。この目標を達成するため、各種施策を広く発信するとともに、「環境」の下に多くの人が集い、交流し、つながることで「環境先進都市・亀岡市」が世界に広がることを目的とした拠点施設を設置するものです。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を発端とした新たな生活スタイルの変革も視野に、サテライトオフィス※1などの機能も付与し、「環境」と「経済」、「社会」の三側面が繋がるSDGs未来都市の実現も目指します。

## 基本構想 (案) ※ワークショップによりアイデアを募り、策定します。

目的を実現するため、次の4つの機能を持った施設の整備を目指します。

- 【創業支援機能】 亀岡市内で生まれる環境関連事業の支援を目的に、貸しスペースの提供などによる「インキュベーション※2」を行う。
- 【情報発信機能】 亀岡から生まれたアップサイクル※3製品である「HOZUBAG」など、環境に配慮したイノベーション※4製品を発信するための「ワークショップ※5」や「テストマーケティング※6」を行う。
- 【交流拠点機能】 眼前を流れる「母なる川 保津川」から環境に思いを巡らせ、人々が集い語り合う交流の場を設置する。
- 【活動拠点機能】 環境関連団体などの活動拠点となる、リモートワーク※7が可能な「コワーキングスペース※8」を設置する。

## 施設概要

拠点施設は、本市の環境施策の源流となる「母なる川 保津川」が眼前に広がる絶好のロケーションにあって、亀岡の玄関口であるJR亀岡駅、令和2年に新たに誕生した集客施設であるサンガスタジアム by KYOCERA、本市の三大観光の一つである保津川遊船をつなぐ動線上に整備を計画しています。

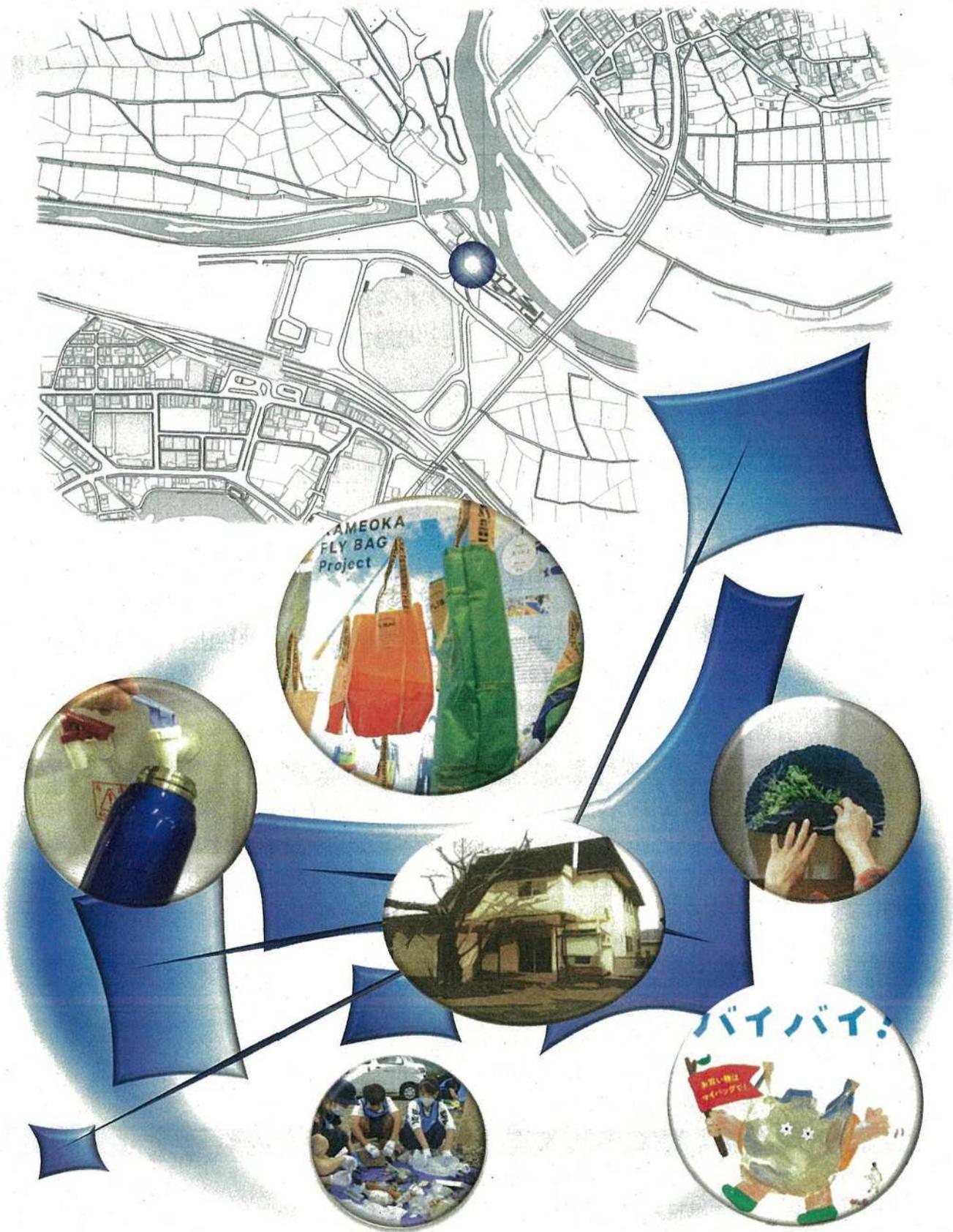
- 【土地】 所在地 亀岡市保津町下中島 59-1  
地目 宅地  
地籍 175.20㎡
- 【建物】 構造 鉄骨造ルーフィング葺3階建  
床面積 1階：110.85㎡/2階：113.13㎡/3階：110.85㎡  
※大規模改修または建て替えを要す

## 整備計画

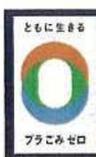
今後、次のスケジュールに沿って整備を進めます。

- ▶令和3年度 基本構想策定、建物調査、実施設計
- ▶令和4年度 施設整備工事 (大規模改修または建て替え)

※1 サテライトオフィス…本社などから離れた場所に設置する事務所 ※2 インキュベーション…新たなビジネスを育てること ※3 アップサイクル…使わなくなったものに、デザインなどの付加価値を持たせ、新しい製品に生まれ変わらせること ※4 イノベーション…革新・一新 ※5 ワorkshop…体験型講習会 ※6 テストマーケティング…試験販売 ※7 リモートワーク…遠隔勤務 ※8 コワーキングスペース…共同で仕事をする場所



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**



世界に誇れる環境先進都市を  
目指す亀岡市は、2020年SDGs  
未来都市に選ばれました。

## 第2回亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会 要旨

日 時：令和3年8月27日（金） 午前10時00分～正午

場 所：亀岡市役所6階 602・603会議室

出席者：今里佳奈子座長・川勝啓史副座長・大矢寛恵委員・小川顕正委員・  
加藤美智恵委員・河原林茂美委員・栗山初美委員・野原通夫委員・  
藤本邦雄委員・松井利夫委員・山本隆志委員

欠席者：大野照文委員

### 委員意見一覧

#### 1 アンケート結果について

##### ●アンケートの結果は、

- ・文化資料館の建て替えについて「早く建て替えるべき」が22%、「財政負担を考えて長期的に考えるべき」が70%。
- ・旧亀岡会館の閉館で「影響があった」が合計39%、「影響がなかった」が58%。
- ・文化資料館や文化ホールを整備する際の財源調達方法については、整備費用を自ら負担してもよいと思えるかどうかとも読みとれるが、「亀岡市が通常の財源を確保する」が22%、「亀岡市がクラウドファンディングで企業や個人から寄付を募る」が44%で、多くの人が自ら費用を負担してまでは必要としていないと分析ができる。

このようなアンケートを実施すると、施設を要望する意見が目立つことが多いが、結果は逆となっている。アンケートの結果を押し切って施設を整備することは、本当にいいのか悩むところではある。

#### 2 主に文化資料館の機能・規模・立地等について

- アンケートの回答や新資料館構想にある「専門的なスペースの他に憩いの場を整備し、触れ合いや交流ができる機能」を備えてはどうか。
- 亀岡祭の山鉾を文化資料館に設置し、お囃子などの体験で多くの人が触れてほしい。亀岡の観光PRに繋がる、発信力のある文化資料館であってほしい。
- 滋賀県のラ コリーナや福井県の恐竜博物館のような、わざわざ府外から人が来る総合的な文化施設があればいいと思う。単独の文化施設があっても、その目的以外の人が行かない。
- 北海道三笠市の化石の資料館や、函館市の北方民族博物館のような、特定のテーマに特化した資料館だと興味もわきやすく、施設の名前が足を運ぶ時のきっかけにもなる。また、規模も抑えられる。
- 亀岡は車社会であり、子どもは親と一緒に車で行くことになる。市内に整備するなら、大きな駐車場があるところがいい。
- 資料保存用の施設は大きなものを整備した方がいいが、展示用の施設は小さくなくてもいい。
- 複合施設とするにしても、資料の保存条件を考慮し、建物の仕様は別にした方がいい。
- ギャラリーかめおかをもっと有効に活用し、江戸時代、明治時代に生まれた亀岡の偉人たちのゆか

りの場所と文化資料館、ギャラリーかめおかを繋ぎ、その間にある城下町をうまく活用できればいい。

- 学校見学で文化資料館の資料を見学することは絶対に必要であるが、それとは別に平時は亀岡市内への発信ではなく、日本全国や世界に向けて発信しておけばいい。
- 文化財を考慮し、気温と湿度に影響されない場所がいい。スタジアム周辺もいいと思う。

### 3 主に文化ホールの機能・規模・立地等について

- 文化交流協会においては、音響設備がしっかりしている舞台が必要との意見が最も多かった。また、舞台裏のスペースや緞帳、客席の後ろに小さな子どもを遊ばすことができる小部屋がほしい。収容人数の規模よりも、充実した舞台機能を備えている文化ホールを望む。
- イベントの採算を考えると、音響設備を抜群に良くし、アットホームなコンサートや発表会を開催できる400～500人規模がいいと思う。ギャラリーかめおかに増設できるかもしれない。
- 練習場所と発表場所を一体化し、宿泊施設も整備できるとよい。
- 大きな財政負担を伴うことなので、ブレーキをかけることも必要。大きな施設は建設費や維持管理費がかかるので、採算が合うかも考えないといけない。施設整備を要望する団体は、自らも資金調達の汗をかいてほしい。
- 新たな土地の購入は費用がかかるので、基本的に既存の市の施設を活用して整備をしてはどうか。
- 少子高齢化対策や子どもたち、災害対策や河川等の改修のための資金が必要で、人の命を守ることが、行政の一番の仕事であることも踏まえて判断してもらいたい。
- ギャラリーかめおかのコンベンションホールと響ホールを改修し、舞台やバックヤード、音響設備等を整備してはどうか。
- 「かめおか霧の芸術会館」を整備し、かめおか霧の芸術祭のような行事を常時開催し、次世代に亀岡の文化を引き継いでいければいいと思う。
- 大きな箱があれば素晴らしいことができるのではなく、亀岡の至る所に小さな文化の種が蒔かれ、芽を出して花を咲かせることが、亀岡市民の文化の意識や喜びに繋がると思う。文化交流協会も小さな演奏会や発表会を続け、根を絶やさないよう活動していきたい。大きな建物は時代にそぐわない。
- 5年間市民の意見を聞き、10年間で資金を集めると、この規模の施設ができるなどといった、大まかなロードマップができればいいと思う。アンケートの結果でも、長期的に財政を考えて整備するべきとの意見が強く、私もそう思う。
- いくつか既存の建物を改修し、音響設備を整備することも1つの方法だと思う。ていねいに会場を分散させ、それぞれのアクセスが徒歩圏内であれば楽しめる。一か所に大人数で集まる時代は終わり、亀岡にふさわしくない。
- 近隣施設か複合施設の方が、駐車場を単独で整備するより効率がいい。
- 整備すると、30～40年間で借金を返済していくことになるので、30～40年後の人口を前提にした規模を考えてはどうか。ギャラリーかめおかに文化ホール機能を持たせることは魅力的だと思う。
- 府立京都スタジアムの中に、文化施設があるのもいいと思う。

令和3年9月

総務文教常任委員会

【生涯学習部】

市民力推進課 資料

〔 連携・協力に関する協定の締結及び  
生涯学習推進設備の設置について 〕

---

## 亀岡市と一般財団法人今日庵との連携・協力に関する協定書（案）

亀岡市（以下「甲」という。）と一般財団法人今日庵（以下「乙」という。）は、日本伝統文化の振興及び生涯学習の推進に関して連携・協力するため、次のとおり協定を締結する。

### （目的）

第1条 本協定は、甲乙が日本伝統文化と生涯学習の普及・振興に関して連携・協力することにより、市民の文化力を高め、豊かで生きがいのあるまちづくりを推進することを目的とする。

### （連携・協力事項）

第2条 甲乙は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携・協力する。

- (1) 日本の伝統文化である茶道の作法と精神に触れる場づくりに関すること。
- (2) 生涯学習の推進に寄与する研究・提案に関すること。
- (3) 全世代や多文化圏の人に対し、日本文化を伝え学ぶ機会の提供に関すること。
- (4) 自然環境と文化を守り、持続可能な社会を目指す取組みに関すること。
- (5) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### （有効期間）

第3条 本協定の有効期間および更新は、次のとおりとする。

- (1) 本協定の有効期間は、締結の日から令和4年3月31日とする。
- (2) 有効期間中であっても、甲乙双方の合意により協定内容を変更することができる。
- (3) 甲乙いずれかから更新しない旨の意思表示がなされないときは、本協定は同一条件により1年間更新されるものとし、それ以降も同様とする。

### （協議事項）

第4条 本協定の各事項について疑義を生じたとき、または協定に定めのない事項については、甲乙協議のうえ、双方誠意をもって対応する。

この協定の締結を証するため、本協定書二通を作成し、双方署名のうえ、各一通を保有する。

令和 年 月 日

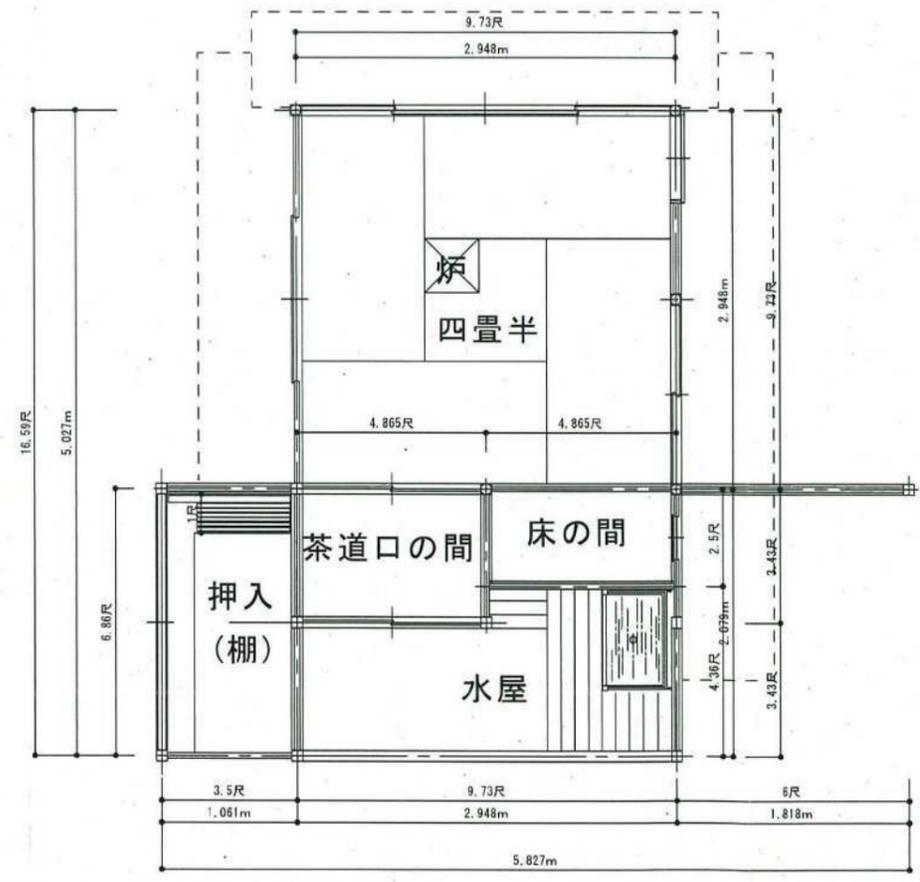
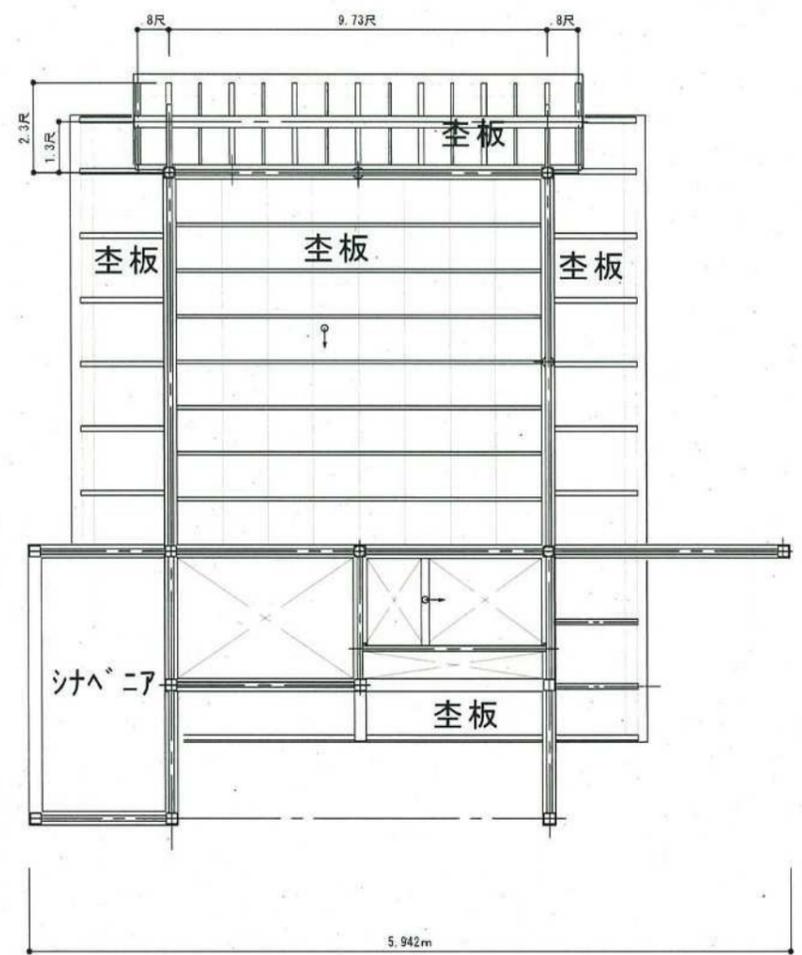
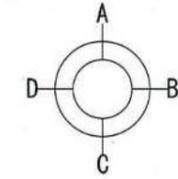
令和 年 月 日

(甲) 亀岡市

(乙) 一般財団法人 今日庵

市長

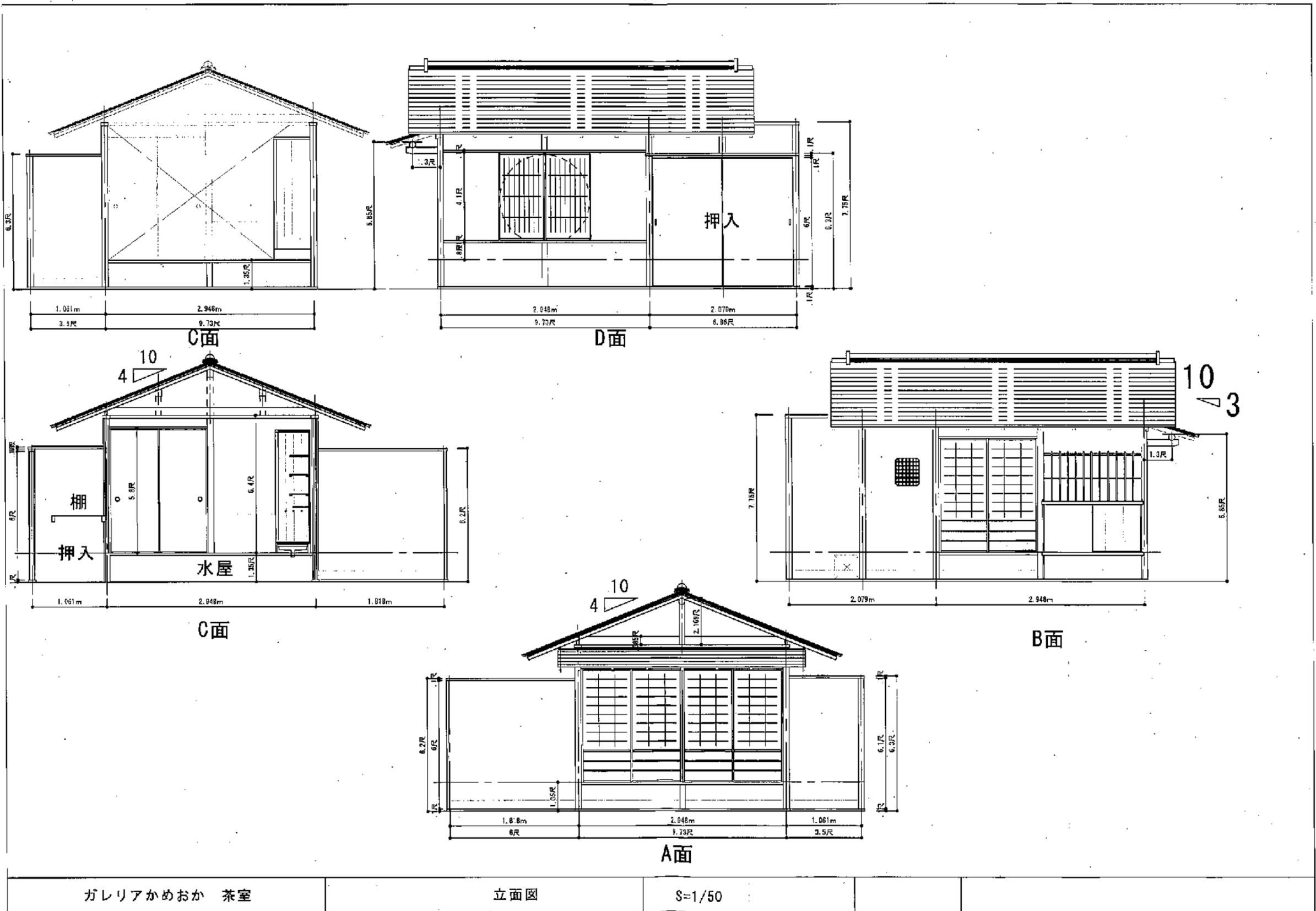
理事長



ギャラリーかめおか 茶室

平面図 天井伏図

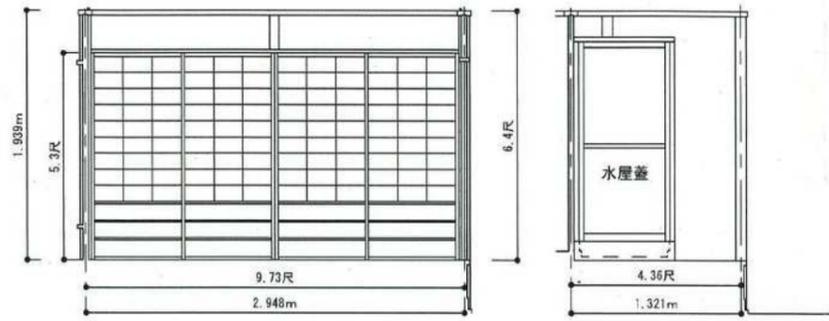
S=1/50



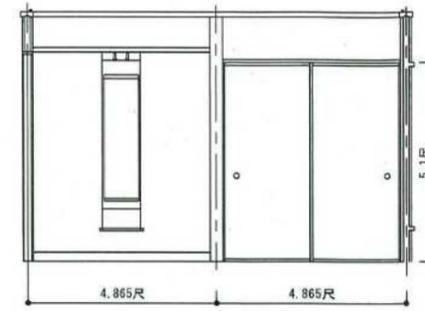
ガレリアかめおか 茶室

立面図

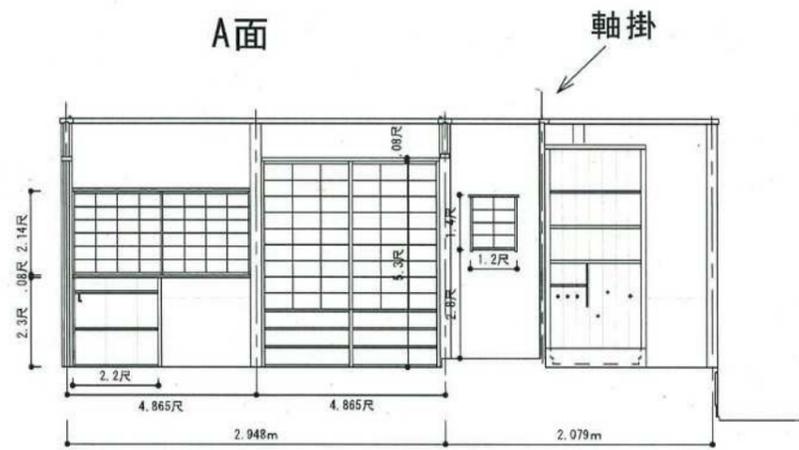
S=1/50



四畳半  
A面

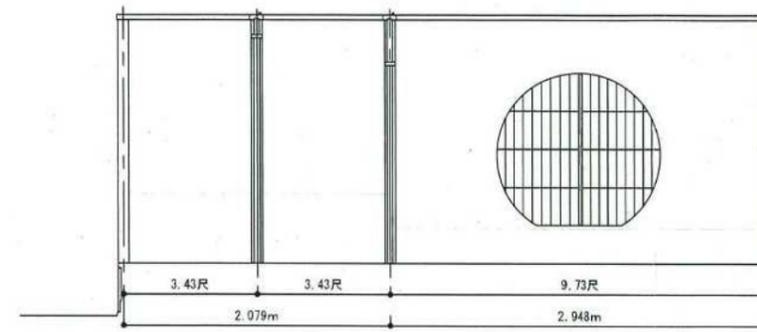


四畳半  
C面

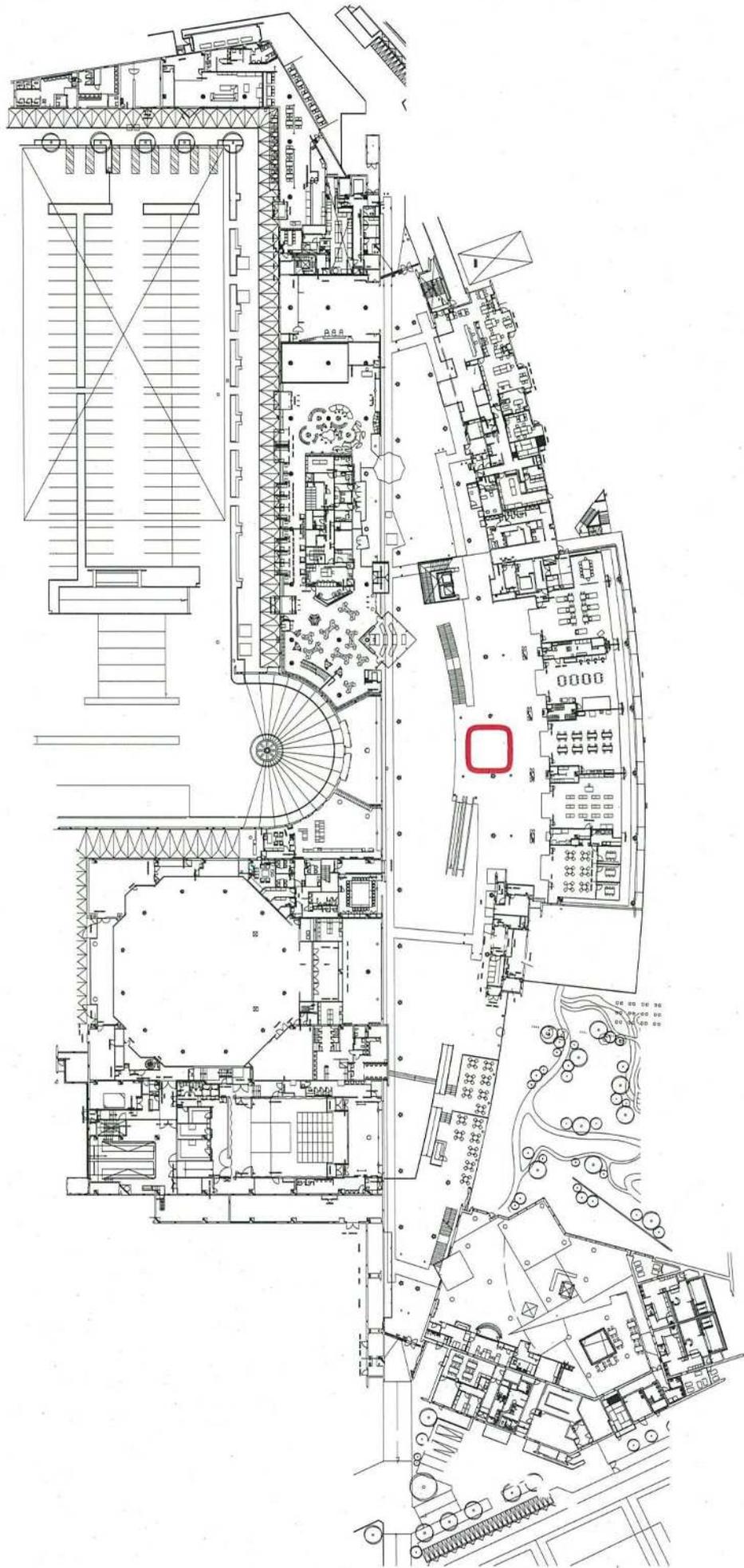


四畳半  
B面

水屋



茶道口の間  
四畳半  
D面



位置図